

デザイン開発室

デザイン開発室では、地場企業のデザイン開発力の向上のために、デザイン開発手法、製品開発手法等についての調査・試作研究、デザイン情報の収集分析を行っています。これらの成果は技術指導・情報提供等により関連企業へ普及を図っています。今年度は以下の事業を実施しました。

1. デザイン再開発に関する研究調査及び技術指導

本事業はデザイン開発室の経常的な研究であり、製品・商品等のデザインに関する情報収集や加工技術等の再発掘調査、市場調査等を行っています。これらの調査研究から得られた情報は技術相談、巡回技術指導、技術アドバイザー事業に役立てています。

また、県内企業23社で構成する「鹿児島県工業デザイン研究会」を運営し、中央のデザイナーによる講演・実技指導、また各企業における具体的デザイン開発に関する会員発表等を行い、デザイン開発の推進に努めました。

2. 軽工業製品における多品種生産方式に関するシステムデザインの研究

CAD（コンピュータ支援による設計）、カラーシミュレーション・システム（簡易コンピュータ・グラフィックス）等の機器を利用した従来とは全く異なったデザイン開発手法で、より効率的・効果的なバリエーション展開手法を確立し、多用化する消費者ニーズへの幅広い対応を図りました。また、企業のデザイン関連のコンピュータ機器の導入に関する、具体的な技術相談等も行いました。

3. 県産竹類の工芸的利用に関する研究

全国一の生産量を誇るモウソウ竹材による製品開発に関して、付加価値を高める手法として、竹表皮材を活かせる新しいデザインの開発、及び集成材にマッチする塗装・着色の研究を行い、それぞれの試作品を作成し、業界への技術普及を図りました。

4. 奄美群島林業振興調査（国庫補助事業）

いまだ十分活用されていない奄美産広葉樹（小径木材）の有効利用を図るため、半割材、皮付材、耳付材等を活かした特産工芸品の開発を行う研究です。

今年度は、奄美群島の各樹種の状況、現在の利用法等の調査を行いました。